

令和3年度琴清苑事業報告・決算報告(抜粋)

総括

令和3年度より、新しい施設での運営が開始されました。新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が4月20日から6月20日まで出され、一旦落ち着いたものの7月12日から9月30日まで再び宣言される事態になりました。その後もオミクロン株の流行により1月8日から3月21日まで蔓延防止等重点措置がとられ、新施設での新規入所が順調に進むことが出来ず、年度末まで施設稼働率が上向きにならず、収入が伸びず苦しい運営となりました。具体的な数字では稼働率が90.15%と低い数字になってしまいました。前施設での定員より9名増員しておりますので、前施設での稼働率は比べられませんが低い数字になってしまいました。今年度中に稼働率上昇の対策として年度末から入所時の抗原検査や送迎の実施を進め、次年度早い時期の定員満床に向けての体制を整備することが出来ました。短期生活介護事業につきましても38.68%の稼働率で推移してまいりました。前年と変わらず低い稼働率でした。短期生活介護事業につきましても年度後半の利用実績が増えたことが、次年度への展望につながりました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、支出の増加も現実の問題として表面化してまいりました。衛生費の増加も補助には頼れず、施設稼働率を上げ収入を増やすことによる対処しかないことが現実の事として確認できました。

慢性的な人材不足につきましては、EPA介護福祉士候補生が年度内3名来苑し、新規職員の採用も進み人員が増え業務が安定して来ました。また、外国人技能実習生4名も、次年度10月以降、特定技能実習生として就労することになり、さらに次年度初めに3名の外国人技能実習生が就労することが決まり、人員増加によりさらなる業務の安定化が図られることとなります。

1フロア4ユニットに別れた業務については、年度中頃までに各介護職員慣れて、ユニットに分かれた、個別ケアの業務が実施されるようになってまいりました。利用者のプライバシーを守り、機能的な動きが取れるようになることにより、次年度もさらなる業務の精通に努めて参ります。

詳細は事業報告書をご一読ください。

財産目録		令和4年3月31日
資産・負債の内訳		琴清苑
資産の部		***
1. 流動資産		***
	流動資産合計	187,019,454
2. 固定資産		***
	固定資産合計	1,650,811,282
	資産合計	1,837,830,736
負債の部		***
1. 流動負債		***
	流動負債合計	24,826,615
2. 固定負債		***
	固定負債合計	484,615,602
	負債合計	509,442,217
	差引純資産	1,328,388,519

拠点区分貸借対照表			令和4年3月31日
			琴清苑会計
		借方	貸方
	流動資産	187,019,454	
	固定資産	1,650,811,282	
	資産の部合計	1,837,830,736	
	流動負債		24,826,615
	固定負債		484,615,602
	負債の部合計		509,442,217
	基本金		210,550,201
	国庫補助金等特別積立金		905,249,752
	その他の積立金等		68,127,739
	次期繰越活動収支差額		144,460,827
	純財産の部		1,328,388,519
	負債・純財産の部合計		1,837,830,736

拠点区分資金収支計算書			令和4年3月31日
(自)令和3年4月1日 (至)令和4年3月31日			琴清苑会計
勘定科目			
決算 の 状 況	事業活動	事業活動収入計	409,842,134
		事業活動支出計	433,525,223
		事業活動資金収支差額 (-)	-23,683,089
	施設整備その他活動	施設整備等収入計	32,500,000
		施設整備等支出計	53,315,956
		施設整備等資金収支差額 (-)	-20,815,956
	予備費	その他の活動収入計	117,660,524
		その他の活動支出計	73,161,479
		その他の活動資金収支差額 (-)	44,499,045
		予備費 ()	0
	当期資金収支差額合計 = + + -	0	
	前期末支払資金残高	163,367,507	
	当期末支払資金残高 (+)	163,367,507	

会計方式は平成24年6月に「新会計基準」へ移行しています。また、監査報告書はHPでご確認ください。